

地震・豪雨などの自然災害に備えて

～関西の地盤情報に基づく防災ハザードマップ開発研究委員会 成果報告会～

主 催：(公社)地盤工学会関西支部

後 援：(公社)土木学会関西支部

(一社)関西地質調査業協会

(一社)日本応用地質学会関西支部

(一社)日本建築学会近畿支部

2011年3月の東北地方太平洋沖地震や2015年9月の関東・東北豪雨など、地震や豪雨などの自然災害が多発し、特に昨年は、6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨、9月の台風21号、北海道胆振東部地震と大きな地震・豪雨災害が続き、地盤災害が多発しています。このような近年の自然災害の規模・頻度を鑑みて、より正確な災害リスクを捉えるためには地盤情報を取り入れた防災ハザードマップの整備が重要と考えられます。そこで、「関西の地盤情報に基づく防災ハザードマップ開発研究委員会」を設立し、平成28年4月～平成31年3月までの3年間において、地震や豪雨による地盤災害の被害予測や防災対策、防災ハザードマップの開発に関する研究活動を行いました。具体的には、(1)地震による地盤の揺れやすさと液状化、(2)地震・豪雨による土砂災害、(3)防災ハザードマップの開発の3つの研究テーマを掲げて、研究活動を行いました。

本報告会は、委員会の研究成果を報告するとともに、防災ハザードマップを活用した地震や豪雨などの自然災害に対する備えについて報告します。また、報告会参加者には本委員会成果報告書を配布します。是非この機会に奮ってご参加いただけますよう、よろしくお願いいたします。

(1)開催日時 : 令和元年9月20日(金) 13:00～17:00

(2)場 所 : 大阪市立大学文化交流センター・ホール

大阪市北区梅田1-2-2-600(大阪駅前第2ビル6階)

(3)定 員 : 100名

(4)参加費 : 正会員・特別会員1,000円、非会員2,000円、学生会員 無料

(5)プログラム : 13:00～13:10 開会挨拶

13:10～13:20 委員会活動概要

13:20～14:40 地震による地盤の揺れやすさと液状化リスクの検討

14:50～15:50 地震・豪雨による土砂災害発生リスクの検討

15:50～16:50 地盤情報データベースを活用した盛土地盤と線状構造物のリスク評価、
防災ハザードマップデータ配布の紹介

16:50～17:00 閉会挨拶

(6)G-CPDポイント : 3.5ポイント

(7)申込み期限 : 令和元年9月13日(金)

(8)申込み方法 : 参加ご希望の方は、①氏名、②所属、③所属住所、④所属先電話番号・FAX・メールアドレス、⑤会員・非会員の別をご記入の上、申込期限までにFAXまたはe-mailでお申込みください。ホームページからもお申込み可能です。申込受付後、参加証・請求書・案内図および郵便振替用紙をお送りいたします。なお、会費の納入は郵便振替(銀行振込・現金書留可)でお願いいたします。

(9)申 込 先 : (公社)地盤工学会関西支部

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-7 ストークビル天満橋801号

TEL : 06-6946-0393, FAX : 06-6946-0383

e-mail : office@jgskb.jp, URL : <http://www.jgskb.jp>